

福島県立いわき支援学校 ふれあい新聞

第1号 令和2年10月2日発行

住所	いわき市平上神谷石ノ町13-1
電話	0246-34-3806
FAX	0246-34-5183
ホームページ	https://iwaki-sh.fcs.ed.jp (ほぼ毎日更新中!)

～豊かな人間性を育む「交流及び共同学習」の推進～

校長 曾川 孝規

地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

今年度、本校の児童生徒は小学部72名、中学部53名、高等部88名の213名が在籍し、卒業後の自立と社会参加をめざして、一人一人がもっている能力や可能性を最大限に活かしながら、豊かな成長に向けた学習活動を進めています。

その学習活動の中に、「交流及び共同学習」があります。児童生徒にとっては、この活動を通してお互いを理解し合い、社会性や豊かな人間性を身につけていくことを目的としています。昨年度、小学部は平第六小学校と、中学部は平第一中学校、平第二中学校、平第三中学校と、高等部はいわき総合高等学校等多くの学校との活動を行いました。今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応のため、活動を自粛していますが、様々な活動の工夫を通して、大切な学びの機会は確保していきたいと考えております。今後とも、よろしく願います。

最後に、今年度の本校学習発表会・文化祭「風と雲のまつり」は、一般公開せずに実施することをご了承ください。

小学部 絵本の読み聞かせ会

小学部 佐藤 萌々

8月31日(金)に小学部2年生が絵本の読み聞かせを聞きました。『サンドイッチ サンドイッチ』のお話では、「これは何かな?」と食べ物のイラストが出てくると、「チーズ」「トマト」など、元気な声で答えていました。また、『だるまさんが』のお話では、「びよ～ん」と背伸びをしたり、「どてっ」と尻もちをついたり、だるまさんのまねっこを楽しんでいました。いろいろな絵本に触れ、充実した時間を過ごすことができました。



平第一・平第二・平第三中学校との交流

中学部 鈴木 明仁

毎年、1学期に実施していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、これまでのような直接お互いに出て交流することが難しくなりました。そこで、今回は中学部でのこれまでの取り組みを学年ごとに壁新聞としてまとめ、それぞれの学校へ送ることにしました。各学年で工夫をして作り上げた壁新聞を来年は再び出て交流できることへの願いも込められています。



編集後記

日頃より、本校の教育活動に御支援御協力をいただきまして誠にありがとうございます。さて、今年度も年2回、「ふれあい新聞」を発行して地域の方々とのつながりを深めていきたいと思っております。感染症拡大防止のため、例年と同じような交流は難しくなっていますが、各学部の学校生活の様子などをお伝えしていきますので、ぜひご覧ください。